



平成 22 年 4 月

= 発行 =

秋田県生涯学習センター

〒010-0955 秋田市山王中島町 1 - 1

TEL : 018 - 865 - 1171

FAX : 018 - 824 - 1799

E-mail : sgcen002@mail2.pref.akita.jp

編集担当：社会教育アドバイザー

平成 22 年度のスタートです。かわいいランドセル姿がうれしい 4 月の朝です。今年度の虹色の発行は、119 号からです。今年も、社会教育・家庭教育・女性教育の情報をお伝えしていきます。多くの方に目を通していただけることを願いながら、作成に努めて参ります。



社会教育アドバイザーと仕事の紹介

社会教育アドバイザーは、全県に 4 名おります。北・中央・南の各教育事務所に 1 名ずつと県生涯学習センターに 1 名の計 4 名です。

北教育事務所	小林 礼子	中央教育事務所	村上 義孝
南教育事務所	狩野 健一	県生涯学習センター	津谷ゆき子

社会教育アドバイザーは、次のような仕事をします。お手伝いすることがありましたら、遠慮なく声をかけてください。

- ・社会教育活動や家庭教育の支援に係わる指導や助言に関する事
- ・社会教育活動や家庭教育の支援に関する事
- ・社会教育や家庭教育に係わる関係機関、関係団体等の相互の提携や連絡に関する事
- ・社会教育や家庭教育に係わる学習活動情報の収集や提供に関する事
- ・学校や地域住民その他の関係者が協力して行う教育活動に係わる助言に関する事
- ・その他社会教育施策や家庭教育に係わる施策の推進に関する事

「スギの子e-mail相談」のご案内

子育ての悩み、ありませんか。一人で悩まずに、まずはメールでお気軽にご相談ください。だれにも聞けないことを心の中にしまいこんで、苦しまないでください。

- ・相談の際には、住所、氏名などの具体的な情報を明らかにする必要はありません。また、相談内容は外部に一切公開しません。
- ・返事は、一週間以内にお送りします。

(e-mail) suginoko@mail2.pref.akita.jp

詳しいことは、インターネットの秋田県生涯学習センターのホームページに載せてありますのでご覧ください。



読書と体験のススメ

秋田県の子どもの学力や体力は全国でもトップクラスです。子どもたちの頑張りのほかに、家庭や地域の支援が良い影響を与えていると思います。家庭や地域のよさも秋田県の自慢の一つだと思います。

このすばらしい秋田の子どもたちですが、読書や社会体験、自然体験の面では満ち足りているとは言えません。

子どもたちには、豊かな体験をして、さらなる心の豊かさを培ってほしいと思います。

子どもたちと一緒に、読書や社会体験、自然体験をしてみませんか。

子どもたちが、たくましく生きていくためには、苦労や感動の体験が必要です。子どもたちを読書や社会体験や自然体験にいざなうために、大人の知恵を貸してあげてください。



子どもを育てるスパイラル <井川町の実践に学んだこと>



(人形劇)



(影絵)



(楽しむ子どもたち)

井川町の公民館で開催された「第1回母と子で楽しい学習会」を取材しました。井川町にある3つの母親クラブの合同学習会で、前半は「生きる力を培う家庭教育」をテーマにした講演会、後半は、ボランティア「こはぜ」による「おはなしキャラバン(人形劇、影絵、ゲーム等)」でした。講演の間は、ボランティア「あい」による託児やフリーの遊び場が準備されていました。ボランティア「こはぜ」は、公民館のボランティア講座をきっかけにして結成されたグループで、20年以上の活動実績をもつグループでした。レベルの高い演出や興味深いお話で、親と子の心を魅了していました。

母親クラブの活動の中に講演を加え、子育てについての学びの機会を組み入れたと説明された幡宮公民館長の学習会に向けた熱い思いに感銘を受けました。

「子育ては、親育ち」と言われています。親が子育ての知識を得るとともに人間として成長していくことは、子どもの育ちにとってもよい影響を与えます。そのことを重要視した合同学習会だったと思います。公民館長のお話を伺い、井川町には「いい子が育つスパイラル」ができあがっているように思いました。父親の参加もあり、関心の深さを感じました。

【講演より】

家庭における子育てが、一番大事！

- ・子どもは親の所有物ではなく、守り育てていくべき一人の人間である。
- ・人としての育ちの始まりは、家庭にある。家族の愛に包まれてこそ、子どもは育つ。

「育児」は、「育自」

- ・親は、子どもを育てながら自分自身も育てている。
- ・子どもには自ら育つ力があるので、それを上手に支えてやる。
- ・「子育て支援」というよりも「子育て支援」の考え方がよい。

コミュニケーションは、大切な心の響き合い

- ・子どもの話をよく聞き、コミュニケーションを大事にする。
- ・子どもの話に対して、心で応える。

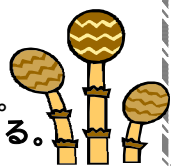
「子どもは、親の鏡」、「親は、子どもの手本」

- ・明るく楽しい家庭、仲の良い父と母と家族、思いやり助け合う家族が、大切な子育て環境になる。
- ・子どもは親の姿を見て育つ。

幼少期(0歳~8歳ぐらい)のかかわりが大事

- ・しっかり抱きしめて、子どもが育つかかわり方をする。
- ・子ども時代は、遊びが大事。子どもは、遊びの中で様々な能力を育てる。

子育ては、地味だが、喜びの多い未来づくりのダイナミックな仕事である。



育児とは、幼い子どもを社会で生きていくことのできる「人間」に育てあげることだと言われております。子どもは、親を手本にして成長していきます。進歩し続けている親の姿を子どもに見せていくことは、最高の子育てになるようです。子育てをしながら親が育ち、親の育ちによって子どもがますます大きく成長するというこの関係を、「いい子が育つスパイラル」だと考えております。

子どもたちの健やかな育ちを願って、今後も子育てに関する記事を掲載していきたいと思えます。